

市内で活躍する 消防団員たち

本庄市消防団の構成

本庄市消防団は、消防団本部、方面隊及び方面隊を構成する分団から組織されています。方面隊は本庄方面隊と児玉方面隊があり、本庄方面隊は7分団、児玉方面隊は5分団の12分団で構成され、児玉方面隊については、分団の下に部が置かれています。4月1日現在、本庄方面隊7分団、児玉方面隊5分団14部、総勢338人で組織し、活躍しています。

消防団員の階級は、団長、副団長、分団長、部長、班長、団員となっております。方面隊長及び副方面隊長の職は副団長の階級にあるものを充てることとなっています。

- | | |
|---|------|
| 団長 | 野口浩 |
| 副団長 (本庄方面隊長) | 渡邊豊 |
| 副団長 (児玉方面隊長) | 眞塩啓治 |
| 副団長 (本庄副方面隊長) | 井上賢一 |
| 副団長 (本庄副方面隊長) | 茂木通信 |
| 副団長 (児玉副方面隊長) | 丸山克也 |
| 副団長 (児玉副方面隊長) | 設楽明弘 |
| 《本庄方面隊》 | |
| 第1分団長 富田雅寿 (宮本町・泉町・上町・照若町) | |
| 第2分団長 坂口真 (仲町・本町・台町・諏訪町・朝日町) | |
| 第3分団長 磯野孝博 (七軒町・森広町・南本町) | |
| 第4分団長 新井茂夫 (藤田地区) | |
| 第5分団長 茂木伸夫 (仁手地区) | |
| 第6分団長 堀口義明 (旭地区) | |
| 第7分団長 萩原忠男 (北泉地区) | |
| 《児玉方面隊》 | |
| 第1分団長 荒井嘉之 (第1部 長浜町・鍛冶町・上町・仲町 第2部 新町・連雀町・本町 第3部 下町) | |
| 第2分団長 廣瀬和好 (第1部 第一金屋・第二金屋・第三金屋 第2部 長沖・高柳 第3部 飯倉・宮内) | |
| 第4部 塩谷・保木野・田端 | |
| 第3分団長 山口善彦 (第1部 太駄上・太駄中・太駄下 第2部 河内・稲沢・元田) | |
| 第4分団長 堀口幸宏 (第1部 秋山・風洞 第2部 東小平・西小平) | |
| 第5分団長 根岸良仁 (第1部 蛭川・下浅見・高関 第2部 上真下・共栄・下真下 第3部 吉岡林・入浅見) | |



今井 康貴さん

Yasutaka Imai

本庄市消防団児玉方面隊
第3分団第2部・会社員

私が消防団に入ったのは、子どもの頃に父が消防団員として活動し、昼夜を問わず火災発生時に出勤していく姿を見て、いつかは自分も同じように地域のために活躍したいと思っていったことがきっかけでした。消防団活動をしていてやりがいを感じる瞬間は、消防車で巡回等活動をする中で、地元の方々に『ご苦労様』とか『巡回の時、消防車の鐘の音が聞こえると本当にありがたいと思うよ』と言われる時です。そういった言葉を聞くと、活動をしていて良かったなと思えます。

また、優しい先輩団員や役員の方々のおかげで良い活動ができ、モチベーションアップにも繋がっています。まだ入団していない、又は入団を検討している人は、今は消防団活動を『厳しい・大変』、『仕事をしながらやっていくのは無理』とか、心の奥底で『自分には縁のないこと』とお考えかもしれませんが、しかし、自分の住む地域に、消防団活動を通じて貢献することは大切です。災害が発生すれば、自分達で地元を守るしかありません。近年の自然災害を含

勇気を持って踏み出せば 地域のためにできることがある

めた災害発生時に、すぐさま行動していたのは近所の人々や地元消防団員です。私は消防団活動を通じて、改めて消防団の大切さに気付きました。そして、私にもできる地域貢献の場が消防団なのだと思います。また、活動する中で旧友との再会や、新たな仲間を増やせるチャンスもあります。少しの時間を、私達と一緒に活動し、地域の重要な役割を担ってみませんか。まずは新たな一歩を踏み出し、一緒に活動できることをお待ちしています。

消防団活動には、自治会のみならず家族、そして何より勤務先のご理解も重要です。私は、勤務先の看板も背負うという大きな役割を担っているんだという気持ちで日々活動しています。自分達がいつ被災者になるかはわかりません。そして、その時に助けてくれるのは地域の人々や地元消防団員です。私達消防団員も、災害時、いち早く現場に出勤できるよう常に意識して活動していきます。地域貢献活動へのご協力、ご配慮をよろしくお願い致します。

消防団員の メッセージ Message

職場の応援が消防活動の活力になる

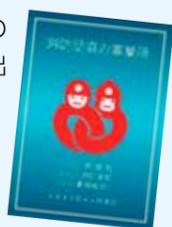
消防団活動を応援する事業所に表示証を交付

▶認定基準

- 従業員が消防団員として2人以上入団している
- 従業員の就業時間中における消防団活動に積極的に配慮している
- 災害時に事業所の資機材を消防団に提供するなど協力をしている
- その他地域の消防防災体制の充実強化に寄与しているなど、市長が特に優良と認める

▶申請方法

- 申請書に必要事項を記入のうえ、次の①～④の書類を添付し危機管理課（市役所3階）へ提出
- ①会社案内・パンフレット
 - ②協力内容が具体的に分かる書類
 - ③再申請の場合は前回表示証
 - ④その他審査に必要な資料
- ★危機管理課 ☎ 1184



表示証を設置することで、消防団活動への協力が社会貢献として広く認められます。

あなたも地域防災の担い手に

消防団員を募集

本庄市消防団ではさまざまな職種、幅広い年齢層の人が消防団員として活躍しています。あなたも地域防災の要として活動しませんか。

▶入団資格

- 18歳以上で心身ともに健康な市内在住・在勤者
- ※入団方法は危機管理課へお問い合わせください。
- ※女性消防団員も募集しています。
- ★危機管理課 ☎ 1184



Interview

本庄市初の女性消防団員に聞く

今こそ地域のため、女性が立ち上がる時

4月1日付で本庄市消防団初の女性団員が入団。本庄市初の女性消防団員となった石森さんは「本泉に生まれ育ち、地域に愛着を感じています。近年では過疎化が進み、活気も失われつつあります。地域貢献のために、女性も立ち上がらなければと思いい志願しました」と、地域への熱い想いを語りました。

近年女性消防団員は、消火活動のほか、女性の持つソフトな面を活かし、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問、応急手当の普及指導等に全国で活躍しています。「地域には元気な女性がたくさんいます。力では男性にかないませんが、消防団活動の中で、女性にしかできない役目は今後たくさん出てくるはず。地域を愛し、ボランティア精神のある女性に消防団に入団してもらい、共に地域を盛り上げ活躍していければ」とその意気込みをみせました。



石森 千加さん

Chika Ishimori

本庄市消防団児玉方面隊
第3分団第2部・ネイリスト